

富山県感染症発生動向速報

(2026 年第 32 週分・8 月 3 日～8 月 9 日)

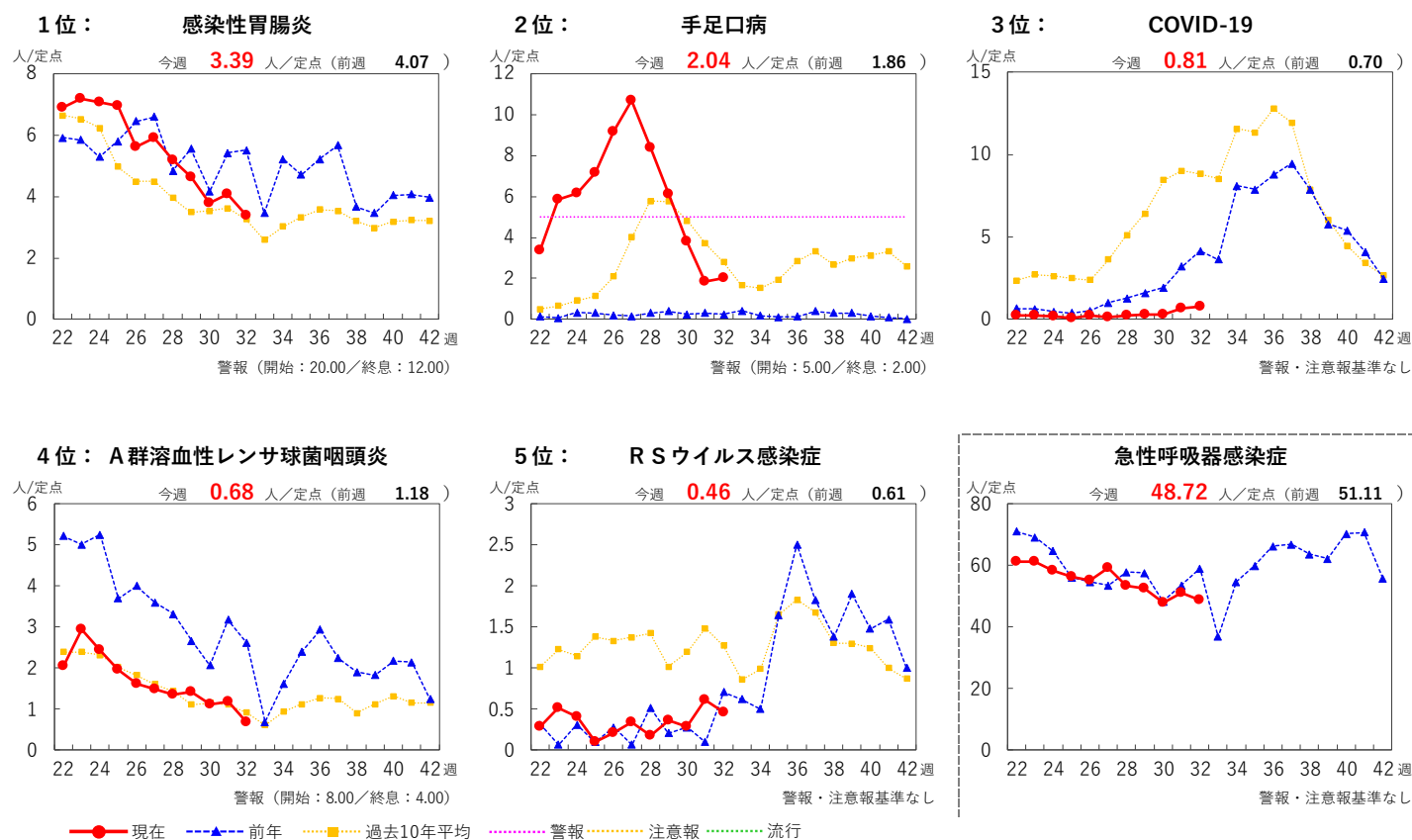
■今週の主な動向

○レジオネラ症が今週 3 例（2026 年累積 26 例）報告されました。

レジオネラ症は、夏季に報告数が増える傾向があり、50 歳以上の男性が患者の多くを占めます。感染すると肺炎等を引き起こし、重症化することがあります。原因菌は循環式浴槽や加湿器等で繁殖しやすいため、予防にはこれらの機器の清掃や換水が重要です。（今週のインフォメーション参照）

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 32 週・8/3～8/9）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1 件（30 歳代、男性）

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件（60 歳代、女性、O157、VT2）

四類感染症 レジオネラ症 3 件（①②共に 60 歳代、男性、肺炎型 ③70 歳代、男性、肺炎型）

五類感染症 梅毒 2 件（①20 歳代、女性、無症候 ②40 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期）





レジオネラ症にご注意！ お風呂・加湿器は清潔に

《 インフォメーション 》

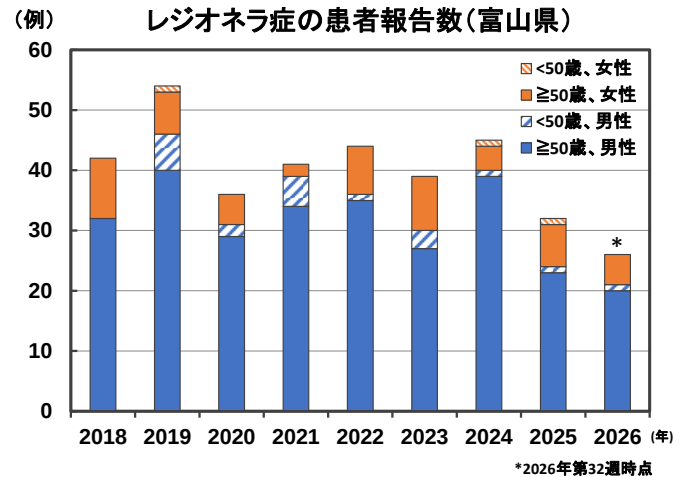
●レジオネラ症

レジオネラ症は、河川、湖水、温泉や土壌などに広く分布しているレジオネラ属菌を原因とする感染症です。近年、全国では年間 2,000～2,500 例程度のレジオネラ症患者が報告されています。届出数は 7 月に多く、季節変動があります。病型は肺炎（94.3%）とポンティアック熱（4.8%）があり、肺炎が大半を占めます。2～10 日の潜伏期の後に、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などを発症し、咳や 38℃ 以上の高熱、悪寒、呼吸困難が見られるようになります。また、下痢や意識障害を起こすこともあります。ポンティアック熱では突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、自然に治癒します。レジオネラ症届出症例中、尿中抗原検出は 95.6%、病原体遺伝子検出は 3.7%、分離・同定は 2.1% であり、大半が尿中抗原で診断されています（[IASR 2024; 45\(7\):107-109](#)）。過去 5 年間の県内の患者報告数は年間 32～45 例で推移しており、2026 年は第 32 週（8 月 3 日～8 月 9 日）時点で 26 例が報告されています。患者は 50 歳以上の男性に多く、7～8 割を占めています（図青色）。女性の報告も少数ながらあり、その多くは 50 歳以上です（図橙色）。

レジオネラ属菌は 20～45℃ の水中で増殖しやすく、衛生管理が不十分な公衆浴場、循環式浴槽、加湿器、空調設備の冷却塔などの水環境で増殖します。これらの設備等から発生したエアロゾルを吸入することで感染しますが、ヒトからヒトへ感染することはありません。

これまでに水環境の不十分な衛生管理による集団感染事例が数多く報告されています。最近の報告事例では、2023 年 7 月に宮城県で医療機関における集団感染（[IASR 2024;45\(7\):112-114](#)）が、同年 9 月に大阪府の一部地域での集積事例（[IASR 2024;45\(7\):114-116](#)）が報告され、いずれも空調設備の冷却塔が原因とされています。宮城県の事例では死亡例も報告されています。また、2024 年 9 月には東京都内で、超音波式蒸気発生機能を有するインテリア用品を原因とする集団感染事例が報告されています（[IASR 2025;46\(3\):68-69](#)）。家庭では追い焚き機能付き風呂や 24 時間風呂の配管、加湿器のタンクなどに付着した「ぬめり」でレジオネラ属菌が増殖しやすいため、取扱説明書に従って定期的に洗浄や換水を行い、適切な衛生管理を行うことが感染対策として重要です。

レジオネラ症患者の抗菌薬治療では、適切な抗菌薬が早期に開始されないと死に至る場合もあります。このため医療機関においては、尿中抗原検出キット等で検査診断を行い、適切な抗菌薬（キノロン系薬、マクロライド系薬）を早期に投与する必要があります。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第32週 2026年8月3日～2026年8月9日）

分類		疾患	今週報告分（第32週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核			1			1	5	3	15	8	33	64
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1	5	1	6	6	21	39
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1	2		6		4	12
	四類感染症	E型肝炎									1		1	2
		デング熱											1	1
		マラリア											2	2
		レジオネラ症					3	3	1	2	8	2	13	26
	五類感染症	急性脳炎							1				1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	1	6	10
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		4	6
		侵襲性肺炎球菌感染症							2		7	2	5	16
		水痘（入院例）							1	1	2		3	7
		多剤耐性緑膿菌感染症											1	1
		梅毒	1				1	2	5	2	9		15	31
		破傷風											1	1
		百日咳							1				7	8
		麻しん									4		4	8
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	211	181	836	216	846	2,290	9,452	8,616	32,797	9,081	41,304	101,250
			30.14	36.20	64.31	30.86	56.40	48.72						
		インフルエンザ	2				1	3	1,447	1,211	3,348	1,433	4,695	12,134
			0.29				0.07	0.06						
	小児科定点（28定点）	COVID-19	6	2	24	3	3	38	289	149	353	169	532	1,492
			0.86	0.40	1.85	0.43	0.20	0.81						
		R Sウイルス感染症			8	1	4	13	29	11	166	31	128	365
					1.00	0.25	0.44	0.46						
		咽頭結膜熱			8			8	33	23	249	1	77	383
					1.00			0.29						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	2	5	1	8	19	154	201	1,406	228	1,323	3,312
			0.75	0.67	0.63	0.25	0.89	0.68						
		感染性胃腸炎	16	7	2	7	63	95	761	644	1,134	301	3,825	6,665
			4.00	2.33	0.25	1.75	7.00	3.39						
		水痘					5	5	3	17	44	9	109	182
							0.56	0.18						
		手足口病	1	14	21	8	13	57	35	173	710	109	1,011	2,038
			0.25	4.67	2.63	2.00	1.44	2.04						
		伝染性紅斑							8	3	26	11	13	61
		突発性発しん	1		7		5	13	7	22	105	25	113	272
			0.25		0.88		0.56	0.46						
		ヘルパンギーナ	1	1	4	3	3	12	18	46	68	17	150	299
			0.25	0.33	0.50	0.75	0.33	0.43						
		流行性耳下腺炎							3		5	4	8	20
	眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎							9	2	14	2		27
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											2	2
		無菌性髄膜炎							2					2
		マイコプラズマ肺炎							9		3	4	6	22
	入院サーベイランス（5定点）	クラミジア肺炎										2		2
	入院サーベイランス（5定点）	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							55	41	49	40	102	287
		COVID-19による入院患者	3					3	22	17	7	12	58	116

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（2026年7月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患 (上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数)		7月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			1		5	6			21		47	68
				0.33		1.25	0.60						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			8	9		6	3		33	42
			1.00			2.00	0.90						
	尖圭コンジローマ			1			1			3	3	6	12
				0.33			0.10						
	淋菌感染症									2		4	6
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			2	1	5	8	3	6	9	7	32	57
				2.00	1.00	5.00	1.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1					1

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。